

調査票(外国人結核および入国者結核)による調査について 関係する患者さまへ

日本医療研究開発機構(AMED)新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業「難治性・多剤耐性結核に対する革新的治療法の開発とその提供体制に関する総合的研究」(露口一成研究開発代表者)の研究開発分担者岡田全司「外国人多剤耐性結核のネットワークを利用した調査」では(外国人結核および入国者結核)調査票による調査を、保健所及び結核診療施設の協力を得て、行っています。

調査の対象となる患者さま。

2020年-2022年までに保健所又は結核診療施設において、結核又は潜在性結核(LTBI)と診断された外国人結核の患者さまが対象となります。

調査にあたって新たにご負担をおかけすることはありません。

患者さまのカルテ等の記録をもとに調査いたします。本調査では当研究班の研究費によって行いますので新たにご負担をおかけすることはありません。

患者さまにご迷惑をおかけすることはありません。

プライバシー・個人情報 は 厳重に守られます。お名前、生年月日など患者さまを特定できる情報が外に出ることは決してありません。

ご不明な点がございましたら、本調査の研究代表者までお問い合わせ下さい。

〒591-8555 大阪府堺市北区長曾根町 1180

国立病院機構近畿中央呼吸器センター

臨床研究センター 岡田 全司 (研究代表者)

TEL. 072-252-3021

FAX. 072-251-2153

E-mail. okada.masaji.dv@mail.hosp.go.jp

なおこの調査は病院外の専門家の方を含んだ臨床研究審査委員会(IRB)における
厳重な審査・承認をうけて実施しています。

(当院ホームページに掲載)